

文化力の旅 旅鶴プラン300

京都、美の規範をめぐる旅(2)

千年の都、京都。その間、兵火や天災で廃墟と化しながらも、変わらぬ不易なるものを見つめ、全ての経験を美に転換した景観がある。江戸時代の大名庭園ブームの始まりは、中国古典をなぞった雅なる桂離宮、田園を配した日本の原風景を造形する修学院離宮など、京都の皇族庭園から。

この季節のご紹介は、
特にございません。

古来の内裏の形を今に伝える由緒ある京都御所。現存するものは安政2(1855)年、平安様式にならない再建された。宇宙を司る北極星、天帝が座する紫宸殿は、御所の正殿で最も格式高い建物。仙洞御所は寛永4(1627)年、後水尾上皇の為に造営、小堀遠州により作庭。二つの池の間には藤棚の美しい八ツ橋。近世の美の結実がそこにある。



京都御所・仙洞御所
京都市上京区京都御苑
(問合せ)宮内庁京都事務所参観係
TEL:075-211-1215
拝観時間等については宮内庁京都事務所参観係に要確認

この季節催事情報特にございません。

(左)京都御所 写真提供:宮内庁京都事務所 (右)仙洞御所 写真提供:宮内庁京都事務所

この季節のご案内は特にございません。



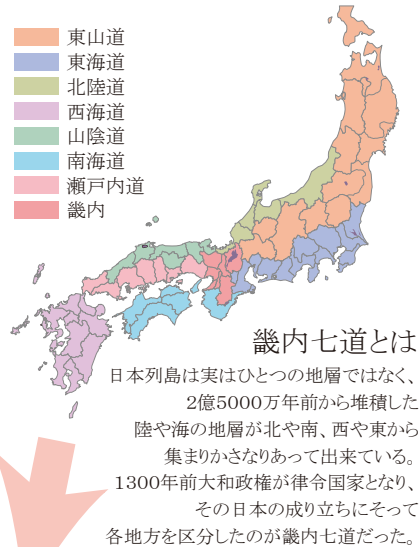
修学院離宮 写真提供:宮内庁京都事務所

この季節のご紹介は、
特にございません。

17世紀中頃、後水尾上皇の指導の下、江戸幕府が造営した修学院離宮。我が国を代表する借景の手法を採り入れた庭園。上、中、下三つの離宮を松並木道が結ぶ。上離宮の回遊式庭園。谷から流れる川をせき止め浴龍池とし、特徴ある橋が中島に架かる。後水尾上皇もこの池で船遊びをしたという。王朝文化の美意識の頂点がここにある。

この季節催事情報特にございません。

修学院離宮
京都市左京区修学院藪添
(問合せ)宮内庁京都事務所参観係 TEL:075-211-1215
拝観時間等については宮内庁京都事務所参観係に要確認



この季節のご案内は特にございません。

つながりあう日本三十六景畿内七道の文化施設をご紹介します



写真提供 三の丸尚蔵館

国の宝に接する、他にない贅沢さ

皇居東御苑内にある三の丸尚蔵館。昭和天皇崩御後、「御物」として伝わった品々の中から絵画・書・工芸品等の美術品類約6千点が、皇室より国へ寄贈された。それらを一般公開するために設立され、狩野永徳の代表作「唐獅子図屏風」をはじめ近代まで、多岐に及ぶ国の宝が揃う。室町時代、大田道灌による千代田城から江戸時代、徳川家の江戸城、そして皇居へと歴史を伝える地でもある。

三の丸尚蔵館

東京都千代田区皇居東御苑 TEL:03-5208-1063
(休)月、金、年末年始(12/28~1/3)※ただし、天皇誕生日以外の「国民の祝日等の休日」は公開し、(月)が休日で公開する場合(火)は休園
(料)入園は無料(入出は大手門・平川門・北詰橋門)



旅鶴倶楽部 責任編集「旅鶴プラン300」
スタイルカフェ・ドット・ネット

〒541-0053 大阪市中央区本町2-5-7 大阪丸紅ビル1F TEL:06-6264-7140

畿内

東福寺

京都市東山区本町15-778
☎075-561-0087

涅槃会・特別拝観
平成24年3月14日(水)~3月16日(金)

本堂で大涅槃図の開帳と法要が行われる。室町時代の著名な画家明兆の大作。献花展、尺八献笛、甘酒の接待もあり境内が一段と賑やか。期間中、国宝重文の寺宝を公開。



涅槃図 写真提供:東福寺

畿内

東寺(教王護国寺)

京都市南区九条町1
☎075-691-3325

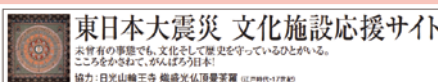
星祭り
平成24年2月3日(金)14:00~ 御影堂

延命や除災を祈願する修法。北斗曼荼羅を本尊に、生まれ年によってめぐってくる九曜星の吉凶の星を供養し祈る法要が執り行われる。また守護の星札の授与もある。要申込。



写真提供:東寺

今回ご紹介する文化施設の催事につきましては、東日本大震災の影響で一部に変更する可能性もございます。最新の情報は、右のサイトでご確認を!



旅鶴 応援 検索

平成23年4月15日開設